



## さつまいものお話（小）



みなさん、こんにちは。今日は「さつまいも」のお話です。

さつまいものふるさととはメキシコで、とても暖かいところです。

日本には、およそ400年前に琉球とよばれていた、今の沖縄県に伝わり、そのあとに、さつまいもの国である今の鹿児島県に伝わったので、「りゅうきゅういも」や「さつまいも」とよばれるようになりました。

さつまいもは、メキシコがふるさとなので暑さには強いですが、寒さには弱いです。しかし、根が土に深く入って、水や養分を吸い上げるので、長い間、雨が降らないところでも育ちます。江戸時代に米がとれなかった時は、米のかわりにさつまいもを食べていました。

さつまいもは、掘ったばかりのものより、掘ってから1か月ほどおいたほうが、あまくなります。

さつまいもには、お腹の調子をよくする食物せんいが、たくさんふくまれています。今日は、大豆といっしょに油で揚げ、黒砂糖のたれでからめた「さつまいもと大豆のかりんとう」です。のこさず食べましょう。